



コスモス診療所

# 小児科診療を 10月1日から 開設します。

急速な少子化が進む中で、小児医療の体制整備は、安心して子どもを生み、健やかに育てるための重要な基盤となる次世代育成支援策の一つです。コスモス診療所では、10月1日から小児科診療を新設。より地域に根ざした診療所として、住民の皆さんの健康を支えていきます。

- 【受付時間】** 平日 ▶ 8時30分～11時30分  
13時30分～16時30分  
土曜日 ▶ 8時30分～11時30分
- 【診療時間】** 平日 ▶ 8時30分～11時30分  
13時30分～16時30分  
土曜日 ▶ 8時30分～12時30分

就任のあいさつ

はじめまして。小児科専門医として10月からコスモス診療所に勤務する小川です。このたびご縁あって福智町で診療させていただくことになりました。町内には小児科専門医が少ないため、これまで、遠方に通院していたお子さんやご家族の負担を減らし、子どもたちの健やかな成長をサポートすることが私の使命であると考えています。私のエネルギー源は子供たちの笑顔です。病気が回復して元気な姿を見せてくれることが最高の喜びです。専門分野はてんかんや筋ジストロフィーなどの神経・筋肉疾患と、ぜんそくやアトピーなどのアレルギー疾患ですが、その他すべての小児の病気を担当します。また、大人のメタボにも多く関わってきた経験があり、悪くなったから治療を開始しても遅すぎることを痛感しています。

Masakatsu Ogawa



小川 雅克 医師

素直な小児期から予防線を張っておくことがいかに重要なことか、時間をかけて説いていくつもりです。これから、末永くよろしくお祈りします。

平成2年に熊本大学医学部卒業後、九州内の病院で小児科・内科医として活躍。平成13年に医学博士を取得。



## 町長日誌

今からおよそ1千300年前の奈良時代に、我が国最古の和歌集である「万葉集」が編纂された。

当時の著名な歌人であった大伴家持が編集に携わったとされ、幅広い階層の人たちが詠んだ和歌など約4千500首が収められている。その中の一首に、「銀も黄金も玉も何せむに優れる宝子にしかめやも」という歌があり、一度は耳にした人も多いのではないかと思います。▼これは、筑前守（筑前：今の福岡県の北西部、守：現在の知事に相当する役職）などを務めた山上憶良が、子を持つ親にとって子どもは何にも代え難い宝物である、親の心情を真率に歌ったものであり、子に対する親の情愛は、いつの世でも不変であることを、私たちに教えてくれる秀歌だと断じてもいいのではないだろうか。▼とりわけ、幼少期から成長していく過程で、病気やケガをせずに健康に育つてほしいと願うのは、すべての親に共通の心理だと思う。しかし、現実的には就学前や小学生の子どもは体力も十分でなく、親がとても気をもむような症状を呈することも、しばしば起こりがちである。そんな時、最も頼りに感じるのは、専門のお医者さんの存在だと言ってもいいのではないかと。▼これまで本町には、常勤の小児科の医師はいなかったが、ご縁があって、上掲の小川先生をコスモス診療所にお迎えするようになった。誠実で温かい人柄は、次代を担う子どもたちや保護者のみなさんに対して、安心という明かりをともしただけのものではない。この言葉をかみしめているところである。

浦田 弘二